

ホクレン営農支援情報

(2020年3月号)

●酪農後継者向け農業経営塾、今年度の日程を終了 《営農支援推進課》

北海道の酪農関係組織で構成する北海道酪農人材育成協議会（事務局：ホクレン営農支援推進課）が、次代の北海道酪農を担う人材育成のため実施している、北海道農業経営塾「酪農経営管理者コース」が1月29日、今年度の全日程を終えました。第2回目となる今年度の研修には、酪農法人後継者など12人が参加し、各3日間×3回の計9日間で学びました。

約半年に渡る研修では、飼養管理や乳質管理のほか、経営分析や人材育成など、幅広い分野を学び、最終日は、受講生それぞれが今後に向け決意を表明。「仕組みばかりにとらわれず従業員の意思を認識して対応したい」「いろいろな関係機関や人に支えられていることがわかった」「理想の牧場をつくり関係者も含めウインウインになる関係をつくりたい」などの声が聞かれました。



2020年度も同様の研修を予定しています。研修に興味がある方は北海道立農業大学校へお問い合わせください。

表. 2020年度の北海道酪農経営塾（仮）「酪農経営管理者コース」開催日程（予定）

	月日	場所
第1クール	2020年7月14日～16日	農業大学校（本別）
第2クール	2020年11月10日～12日	農業大学校（本別）
第3クール	2021年1月25日～27日	札幌

● 「ホクレン RTK システム」 農協担当者会議を開催 《帯広支所 営農支援室》

1月24日十勝農協連ビルにおいて「ホクレン RTK システム」に係る農協担当者を集めた会議を開催しました。十勝管内の16JA、総勢30名が参加し、2019年の稼働状況のほか、新アプリの内容やスケジュールなど2020年に向けた説明も行いました。

十勝管内の利用は2019年10月末で9JA(4基地局)、約800IDとなっていますが、2020年は新たに5JA(3基地局)が参加を予定しており、1300IDに達する見込みです。

会議の中ではさまざまな意見交換も行われ、RTKシステムへの理解が深まるとともに、農協担当者間のネットワークづくりにもつながる機会となりました。



● 「スマート農業」に関する講習を日高農業生産法人会研修会で実施

《苫小牧支所 営農支援室》

1月24日に日高生産連ビル(新ひだか町)で、日高農業生産法人会の研修会が開催され、営農支援センターの村木主任技師を講師に「スマート農業技術の導入について」講習を行いました。法人会の会員10名に、日高振興局・町役場・農業改良普及センター・JA職員などが加わり、40名の出席となりました。約1時間の講習でしたが、スマート農業全般に関する情報提供を行い、出席者は講師の話に熱心に耳を傾けていました。



●「オホーツク・スマート農業セミナー2020(畑作)」開催 《北見支所 営農支援室》

2月12日に北見市内の端野町公民館において、「オホーツク・スマート農業セミナー2020【畑作】」を、オホーツク・スマート農業推進会議（オホーツク総合振興局・普及センター・北見農試・農協連・中央会・ホクレン）の主催で開催しました。

セミナーでは、「スマート農業技術の導入事例と効果分析」、「ドローンを用いた農薬防除」、「地図システムを活用した輪作体系の見える化」の講演のほか、複数企業による展示紹介を行い、農業者・JA職員を中心に300名を超える参加となりました。活発な質疑も行われ関心の高さがうかがえるセミナーとなりました。



● J G A P 維持審査を受審しました 《訓子府実証農場 農産技術課》

訓子府実証農場農産技術課では、「ほうれんそう」を対象品目に、2019年にJGAP認証を取得しています。去る12月13日には、認証を維持するのに必要な、1回目の維持審査(実地)を受審しました。審査結果がでるまで時間がかかるため現在は結果を待っている状況ですが、維持審査の内容を含め、今後も引き続きGAPに係る情報発信を行っていきます。



● 日高管内の農業者向け地域 GAP 研修会で「農作業安全について」講習を

実施 《苫小牧支所 営農支援室》

2月3日、北海道静内農業高等学校（新ひだか町）において、日高管内の農業者向け地域GAP研修会が開催され、苫小牧支所営農支援室が協力し、ホクレン農機自動車課の家納技師が講師となり「労働安全（農作業安全）について」の講習を行いました。当日は、同校が取り組んでいるAGIAGAPの現地審査会も合わせて開催され、学校関係者や行政関係者など42名が参加しました。参加者には同校の生徒も含まれ、将来の地域農業の担い手にとっても有意義な講習会となりました。



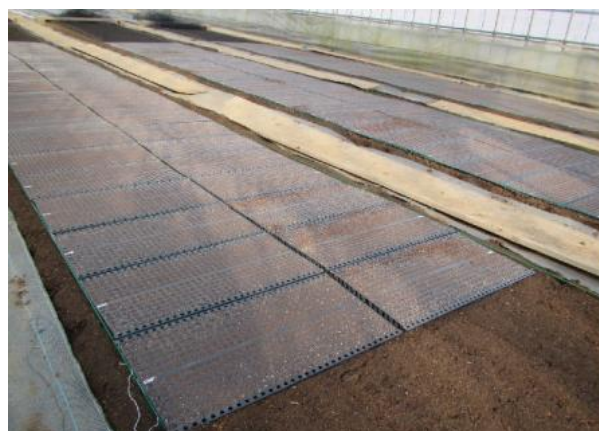
農作業安全についての講習の様子



農作業安全について学ぶ高校生の参加者

● 玉ねぎの播種作業を実施 《長沼研究農場 園芸作物開発課》

園芸作物開発課では玉ねぎの品種開発を行っています。2月19日に極早生・早生品種の播種および床ふせ作業を行いました(育苗トレイ約130枚)。育苗した苗は4月下旬に定植し、品種比較試験や各種試験を行います。7月中下旬ごろから倒伏期となり、8月以降に収穫する予定です。



播種および床ふせ後の育苗ハウス内の様子
(この後、トンネルを設置)

当課では、視察の受け入れも行っています。ご興味のある方は、園芸作物開発課まで。

(Tel. 0123-88-1990)

● MA フィルムを用いたグリーンアスパラガスとスイートコーンの流通技術を開発しました 《食品流通研究課》

MA フィルムは、袋内の酸素や二酸化炭素濃度を調整し農産物の鮮度を保持する特殊なフィルムです。ホクレン農総研では、このフィルムを用いた輸送技術を道総研花・野菜技術センターなどと共同開発しており、既にブロッコリーの輸送で開発された技術が活用されています。今般、グリーンアスパラガスとスイートコーンでの成果がまとまりました。

MA フィルムを用いた低温管理で、グリーンアスパラガスは従来の発泡箱より包材費が減り同程度の品質を保持でき、スイートコーンは MA フィルムの資材費がかかるものの、段ボールのみより食味が高い状態で輸送可能です。なお、この技術は令和元年度の北海道農業試験会議で、令和2年に普及すべき指導参考事項として選定されました。お問い合わせは食品流通研究課まで。(Tel. 011-742-5441)



MAフィルムでの包装の状況（グリーンアスパラガス）



MAフィルムでの包装の状況（スイートコーン試験時）

●「JA職員のための無料職業紹介スタートガイド」発行 《営農支援推進課》

ホクレン営農支援センターでは、北海道、JA北海道中央会などの協力のもと、JAが無料職業紹介事業に取り組むためのポイントについて、優良事例を交えて整理したガイドブック「JA職員のための無料職業紹介スタートガイド」を発行しました。

アグリポート別冊として各JAに配付しています。ぜひご活用ください。



●岩見沢支所営農支援室のメンバーが変わりました 《岩見沢支所営農支援室》

2月の定期人事異動によりホクレン岩見沢支所営農支援室のメンバーが以下のとおりとなりました。今後ともよろしくお願ひします。

室長（兼 支所次長）	佐藤 慶之
主任技師	熊谷 和也【新任】
技師	大上 大輔【新任】

内容についてのお問い合わせは **ホクレン岩見沢支所営農支援室** まで

Tel. 0126-35-1302 E-mail. 06einousien@hokuren.jp

発行： **ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課**

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp